



嘉永6年（1853）7月18日、ロシア極東艦隊司令
長官プチャーチン率いる軍艦4隻が長崎に来航しました。
ペリー浦賀来航の一月半後の事でした。

展示史料の「異船渡来記」は、ロシア艦隊来航の様子を江戸の知人に
伝えた川村庄吉（長崎奉行の家臣）の書翰の写しで、旗艦パルラダ号などを
描いた図も模写されています。

その筆者は不明ですが、後半が「魯西亜風聞自崎陽来翰〔ロシア風聞崎陽（＝長崎）
より来翰〕」となっています。前半は松前藩や薩摩藩から老中宛の異国船接近の報告など
が写されており、筆者は幕府中枢にも近い人物であった可能性もあります。

また、安政5年（1858）、幕府は6月の日米修好通商条約調印に続いて、7～9月にかけて
オランダ・ロシア・イギリス・フランスとも修好通商条約を結びました。

展示史料の表紙は「外国交易ニ付御触書之写」とありますが、上記のいわゆる「安政の五か国条約」
の写しとなっています。幕府から京都町奉行所に送られた条約文を安政7年正月に藤西町の町役人が
筆写したものと思われます。

各国ともほぼ同様の条文ですが、オランダ・ロシア・イギリス・フランス・アメリカの順にすべて
筆写されているだけでなく、漢字には読みがなが振られている点が興味深い史料です。

経済・経営・法律系図書室所蔵 貴重図書展示

長崎来航ロシア艦隊 と日米修好通商条約

2017.4.10(月) → 2017.9.29(金)

経済・経営・法律系図書室 (B3 棟 6 階)



※学外の方（大阪府在住 or 在勤 or 在学で18歳以上の方）が入室を希望される場合は、総合図書館中百舌鳥にて利用登録が必要です。